

たかおか

市議会 だより

No.45 12月定例会号
平成29年(2017年)2月1日発行

12月定例会のあらまし	2P
議会の新しい構成	5P
個別質問	6P
総括質問	10P
委員会の動き	12P

新高岡駅から
かがやきに乗ろう!!



「冬の瑞龍寺」(高岡「いいね」フォトコンテスト応募作品) 撮影:前田 達治

編集■広報広聴委員会
発行■富山県高岡市議会
〒933-8601 高岡市広小路7-50
TEL 0766-20-1531
FAX 0766-20-1534
E-mail : gikai@city.takaoka.lg.jp



補正予算・条例など

53議案を可決・認定

個別・総括質問に12人が登壇

12月定例会は1日に開会し、14日に閉会しました。

初日には、継続審査となっていた平成27年度決算などの4議案を可決・認定しました。

また、市長から平成28年度補正予算をはじめ49議案が、議員から意見書1議案が提出され、うち、49議案を可決しました。

今定例会では、個別・総括質問に12人の議員が登壇し、白熱した議論を展開しました。

可決・認定した 主な議案等

条例

個人番号カードの利用に関する条例（新規）

個人番号カード（マイナンバーカード）を活用した住民サービスのため、自治体独自の多目的利用を規定するもの。
(1)市立図書館における図書への貸し出し
(2)生涯学習センターにおける施設予約及び講座の申し込み
(施行期日)
平成29年2月1日

高岡市立看護専門学校条例及び高岡市立看護専門学校学生奨学資金貸与条例の廃止

平成29年2月1日

印鑑条例の一部改正

平成28年度末をもって自動交付機が廃止されることに伴い、自動交付機及び暗証番号に関する条項を削除するもの。
(施行期日)
平成29年4月1日

廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の一部改正

し尿の汲み取りについて、安定した収集体制と業務の確実な履行を確保するため、汲み取り料金を改定するもの。
・高岡区域
660円→800円
・福岡区域
620円→800円
※料金は100リットル当たり
(施行期日)
平成29年4月1日

埋蔵文化財センター条例（新規）

埋蔵文化財の保存、調査研究及び活用を図り、郷土の歴史と文化に対する市民の知識と理解を深めるため、地域学習の拠点として埋蔵文化財センターを設置するもの。
(1)場所 旧西広谷小学校校舎
(2)利用料金 無料
(3)利用時間 9時～16時
(4)休館日 月曜日・火曜日及び12月29日から2月末日
(施行期日)
平成29年4月1日



市内の看護専門学校3校が統合

議決結果一覧

継続審査となっていた議案

その他

- ◇平成27年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分
..... 全会一致で可決
- ◇平成27年度工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分
..... 全会一致で可決

認定《平成27年度決算》

- ◇企業会計
 - (高岡市民病院事業会計)..... 全会一致で認定
 - (水道事業会計)..... 全会一致で認定
 - (工業用水道事業会計)..... 全会一致で認定
 - (簡易水道事業会計)..... 全会一致で認定
 - (下水道事業会計)..... 賛成多数で認定
- ◇一般会計・特別会計
 - (一般会計)..... 賛成多数で認定
 - (国民健康保険事業会計)..... 賛成多数で認定
 - (荻布奨学金事業会計)..... 全会一致で認定
 - (駐車場事業会計)..... 全会一致で認定
 - (工業団地造成事業会計)..... 全会一致で認定
 - (介護保険事業会計)..... 賛成多数で認定
 - (後期高齢者医療事業会計)..... 賛成多数で認定

初日提出議案

- ◇平成28年度 補正予算
..... 全会一致で可決
- ◇一般会計
..... 全会一致で可決

■上下水道事業の設置等に関する条例等の一部改正

簡易水道事業について、地域住民に対するサービス水準の向上と効率的な経営を図るため、水道事業に統合することに伴い、所要の改正を行うもの。

(1)事業統合による簡易水道事業廃止に伴う条項の整理

(2)事業統合に伴う、水道事業における計画給水人口と計画1日最大給水量の変更

(3)水道の布設工事監督者及び水道技術管理者について、簡易水道事業に関する資格基準の削除

(施行期日)

平成29年4月1日



18歳選挙権で議会が身近に 高校生議場見学

■その他

■工事請負契約の締結

野村小学校体育館改築工事
契約金額 6億4800万円

■財産の交換

高岡駅前東地区複合ビル整備事業について、市保有地とsora高岡(複合ビル)の床を交換し、一部を区分所有するもの。
・交換の相手方
高岡駅前東開発株式会社

■財産の無償貸付(建物及び土地)

市内3看護専門学校の統合に伴う高岡市医師会の事務所移転に際し、区分所有するsora高岡の市持ち分を高岡市医師会へ無償で貸し付けるもの。
・貸し付けの相手方
一般社団法人高岡市医師会

■指定管理者の指定

急患医療センター、農業センター、ロツジ山ぼうし、職業訓練センター、勤労者余暇活用センター、福岡観光物産館、とやまふくおか家族旅行村、おとぎの森公園、古城公園、古城公園動物園、ウイング・ウイング高岡広場、青年の家、生涯学習センター、市民会館、市立博物館、万葉歴史館、市美術館、ミュゼふくおかカメラ館、市民体育館、弓

■選挙

道場、城光寺野球場、城光寺陸上競技場、長慶寺室内プール、スポーツ・レクリエーションホーム、万葉スポーツセンター、テニスコート、サッカークラブフィールド、イベント広場、竹平記念体育館、伏木北前船資料館、伏木気象資料館の31施設について、指定管理者を指定するもの。

■庄川水害予防組合議会議員補欠選挙当選人

坂林 永喜議員
本田 利麻議員

■小矢部川中流水害予防組合議会議員補欠選挙当選人

四十九 清治議員

■高岡地区広域圏事務組合議会議員補欠選挙当選人

坂林 永喜議員
吉田 健太郎議員
福井 直樹議員
金森 一郎議員
狩野 安郎議員

■砺波地方衛生施設組合議会議員補欠選挙当選人

水口 清志議員
大井 正樹議員

■富山県後期高齢者医療広域連合議会議員補欠選挙当選人

中川 加津代議員

■条例

- ◇国民健康保険事業会計…………… 全会一致で可決
 - ◇工業団地造成事業会計…………… 全会一致で可決
 - ◇介護保険事業会計…………… 全会一致で可決
 - ◇後期高齢者医療事業会計…………… 全会一致で可決
 - ◇高岡市民病院事業会計…………… 全会一致で可決
 - ◇水道事業会計…………… 全会一致で可決
 - ◇工業用水道事業会計…………… 全会一致で可決
 - ◇下水道事業会計…………… 全会一致で可決
-
- ◇市議会議員及び市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正…………… 全会一致で可決
 - ◇個人番号カードの利用に関する条例…………… 賛成多数で可決
 - ◇職員の給与に関する条例等の一部改正…………… 全会一致で可決
 - ◇市税賦課徴収条例及び国民健康保険税条例の一部改正…………… 全会一致で可決
 - ◇市立看護専門学校条例及び市立看護専門学校学生奨学金貸与条例の廃止…………… 全会一致で可決
 - ◇廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の一部改正…………… 賛成多数で可決
 - ◇印鑑条例の一部改正…………… 賛成多数で可決
 - ◇特別用途地区建築条例の一部改正…………… 全会一致で可決
 - ◇新高岡駅前観光交流センター条例等の一部改正…………… 全会一致で可決
 - ◇埋蔵文化財センター条例…………… 全会一致で可決
 - ◇上下水道事業の設置等に関する条例等の一部改正…………… 全会一致で可決

討論要旨

(平成27年度決算)

○日本共産党《下水道事業会計、一般会計、国民健康保険・介護保険、後期高齢者医療の各事業会計：反対》

下水道事業では、住民一人当たりの一般会計からの繰入額を県内平均並みとすれば、下水道使用料の引き下げは十分可能であり、努力を求める。一般会計では、大型事業推進の結果、市債残高が膨らみ財政を圧迫している。事業費の削減努力、費用対効果の徹底検証とともに、事業実施に当たり、民意の反映に配慮するように強く求める。

国民健康保険事業では、一般会計からの財政支援により、国税の引き下げは可能である。国庫補助の増額を国に求めてもらいたい。

介護保険事業では、市独自の財政努力を強めるとともに、国庫補助率の引き上げを国に要請してもらいたい。

後期高齢者医療事業では保険料負担の軽減と制度の廃止を求める。

○自民同志会

《全会計：賛成》

水道事業では、良質な水の安定供給と地震等の災害に強い水道施設の構築に努めたこと

とを評価する。下水道事業では、住吉ポンプ場増設工事や雨水幹線整備への取り組みを評価する。上下水道とも、「あたりまえの継続」の使命を果たしていくことを要望する。

市民病院事業では、県西部初となる緩和ケア病棟の開設を評価するとともに、今後、経営の健全化に一層努めるよう要望する。

一般会計では、ポスト新幹線時代の公共交通網整備や、若者世代に焦点を当てた定住促進策、歴史的・文化的資産と人々の魅力を融合した新たな文化創造など、様々な施策・事業に取り組んだことを評価する。引き続き、不断の姿勢で行財政改革に取り組み、効率的・効果的でスピード感のある行財政運営を要望する。

○社民党議員団

《全会計：賛成》

水道事業では、良質な水の安定供給と災害に強い水道施設の構築に対し評価する。少しでも水道料金が引き下げられるよう、県の受水単価引き下げに向けた働き掛けなど経営努力するよう要望する。

市民病院事業では、緩和ケア病棟の開設、紹介・逆紹介による地域医療との連携強化などに対し評価する。一般会計では、市税収納率

及び収入未済額がともに改善したことを評価する。今後も市債残高を減らす努力を要望する。最も大切なのは市民が安心して暮らせる地域社会の確立であり、福祉や医療、教育の充実、子どもが健やかに育つまちづくり、快適で安全・安心な地域社会の創造である。市民生活最優先の着実な市政の前進を要望する。

○公明党

《全会計：賛成》

水道事業では、老朽配水管の計画的更新及び基幹管路の耐震補強工事に対し評価する。下水道事業では、住吉ポンプ場増設工事など、重要なインフラ整備の推進を評価する。

市民病院事業では、緩和ケア病棟開設などを評価するとともに、将来にわたる安定経営に努めることを要望する。

一般会計では、市税収納率が向上し、地道な対策の成果と評価する。また、藤子・F・不二雄ふるさとギャラリーの開設や、金屋町・山町筋観光バス専用駐車場の整備について評価する。低迷する経済の中で市税収入の減少が予想され、市債残高も増加している。今後、償還ピークへの対応や、さらなる財政健全化への取り組みに加え、市民サービスの向上へ一層の努力を要望する。

その他

- ◇工事請負契約の締結（野村小学校校体育館改築工事）…………… 全会一致で可決
- ◇財産の交換…………… 全会一致で可決
- ◇財産の無償貸付（建物及び土地）…………… 全会一致で可決
- ◇指定管理者の指定（26件31施設）…………… 全会一致で可決

最終日追加提出議案

議員提出議案（意見書）

- ◇原発再稼働の中止と原発コストの利用者への転嫁に反対する意見書…………… 賛成少数で否決

請願

- ◇政務活動費の不正の真相解明と不正根絶を求める請願（全日本金者組合高岡支部 支部長 小谷一郎・高岡民主商工会 会長 折橋 英明・新日本婦人の会高岡支部 支部長 高宮 利枝）…………… 賛成少数で不採択



議会の新しい構成決まる

12月定例会初日の1日に、議長・副議長の辞職に伴う選挙を行いました。

また、常任委員会の所属変更、議会運営委員会・特別委員会等の委員を選任し、議会諸役員を改選しました。

議長に 曾田康司氏 副議長に 樋詰和子氏



曾田議長

樋詰副議長

新議長、抱負を語る

「平成29年は、高岡市総合計画第3次基本計画がスタートする年となります。計画に盛り込まれた施策・事業の実現に向け、市当局と議論を重ね、市民の皆さまのご期待に応えてまいります。高岡市のさらなる発展のためには、交流人口を増やすことが必要です。本市の魅力であり、強みでもある歴史・ものづくりを最大限に活用するため、市当局と一緒に汗をかいてまいります。」

様々な議論を重ねております。改善すべきところは改善し、皆さまの負託に応えられるよう一歩一歩進んでまいります。また、若い人にも興味を持ってもらえる議会を目指します。」と、曾田議長が抱負を語りました。

現在、高岡市議会では、市民に開かれた議会を目指し、議会改革検討委員会で

曾田議長 副議長、議会運営委員長、総務文教、民生病院の各常任委員長などを歴任
樋詰副議長 総務文教、民生病院の各常任委員長、歴史文化・広域観光対策特別委員長などを歴任

現在、高岡市議会では、市民に開かれた議会を目指し、議会改革検討委員会

特別委員長などを歴任

建設水道 常任委員会 ◎坂林 永喜 ○福井 直樹 水口 清志 樋詰 和子 大井 正樹 山沼 茂敏	経済消防 常任委員会 ◎野上 達夫 ○藪中 一夫 永森 茂 曾田 康司 四十九清治 畠 起也	民生病院 常任委員会 ◎中川加津代 ○吉田健太郎 石須 大雄 金森 一郎 盤若 進二 高畠 義一 荒木 泰行	総務文教 常任委員会 ◎横田 誠二 ○本田 利麻 上田 武 狩野 安郎 金平 直巳 青木 紘 舘 勇将	議会運営委員会 ◎金森 一郎 ○永森 茂 石須 大雄 藪中 一夫 中川加津代 吉田健太郎 狩野 安郎 水口 清志 高畠 義一 山沼 茂敏
議会改革 検討委員会 ◎荒木 泰行 ○金森 一郎 石須 大雄 中川加津代 吉田健太郎 本田 利麻 福井 直樹 狩野 安郎 水口 清志 高畠 義一	広報広聴 委員会 ◎狩野 安郎 ○福井 直樹 中川加津代 坂林 永喜 野上 達夫 吉田健太郎 本田 利麻	歴史文化・ 広域観光対策 特別委員会 ◎永森 茂 ○高畠 義一 藪中 一夫 野上 達夫 本田 利麻 盤若 進二 金平 直巳 山沼 茂敏	新幹線・ 公共交通対策 特別委員会 ◎舘 勇将 ○金森 一郎 横田 誠二 中川加津代 吉田健太郎 上田 武 四十九清治 水口 清志	港湾対策 特別委員会 ◎荒木 泰行 ○石須 大雄 坂林 永喜 福井 直樹 狩野 安郎 青木 紘 大井 正樹 畠 起也

◎委員長
○副委員長
※委員長・副委員長以外は議席順。

個別質問

今定例会では、9人が市政全般にわたり質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



本田 利麻
自民同志会

「かがやき」の定期優化

「新高岡駅利用促進タスクフォース」の設置をはじめ、新高岡駅の利用促進に向けた新たな取り組みと狙いは。

市長 新幹線開業以来、新高岡駅に停車する「臨時かがやき」は、その存続について判断される重要な時期に差し掛かっている。そのため、「かがやき」の停車に向けた全庁的な取り組みを強化するため、市長直属の組織として設置した。タスクフォースは、これまでの取り組みの中で見えてきた課題の整理、部局横断的な視点による事業効果の再検証及びトップマネジメントによる迅速な意思決定と情報共有を進めるための「司令塔」に当たる。設置により、あらゆる可能性を探り、「かがやき」停車に向けた必要な対策の検討、実施を迅速に進めているところであり、私自身が先頭

に立って「かがやき」停車の実現にまい進していきたい。

企業内保育の支援を

女性が働きやすい環境づくりに関して問う。

(1)企業内保育と多機能型保育の進め方と課題は。
(2)高岡オフィスパーク協議会が実施する企業内保育を支援しては。

福祉保健部長 (1)事業所内保育の課題は、施設面での安全性確保や保育ノウハウを持った人材の確保と考えている。就労形態の多様化などにより、24時間保育、シフトステイ・トワイライトステイ、院内保育、休日一時預かりなど、様々な保育サービスの需要が一定量あると認識しており、需要量調査を行い、実態を把握したい。需要量を適切に見込むとともに、実施には多くの人材確保が必要であることから、事業手法を適切に検討することが重要と考えている。
産業振興部長 (2)高岡オフィスパーク協議会においては、保育施設の設置にあたり、国の企業主導型保育事業助成金

の活用を検討されており、これまで、運営に必要な人材確保に向けた情報提供や県・関係者との調整などを行ってきた。保育施設の整備状況を踏まえ、道路改良等の周辺整備など、オフィスパークが先進的な企業団地として飛躍できるよう、支援に努めたい。



狩野 安郎
自民同志会

ユネスコ無形文化遺産

「高岡御車山祭の御車山行事」を含む全国「山・鉦・屋台行事」33件のユネスコ無形文化遺産登録を受け、今後の取り組みについて問う。

(1)高岡御車山祭の行われる5月1日を市内の小・中・特別支援学校の休業日とし、多くの児童生徒が高岡御車山祭にふれ、ふるさと高岡を愛するところを育む日としては。
(2)祭りの情報発信に当たっては、指定を受けた各地域が連携して取り組むべきでは。
教育長 (1)ユネスコ無形文化



ユネスコ無形文化遺産に登録「高岡御車山祭の御車山行事」

遺産に登録されたことを契機に、高岡御車山祭が行われる5月1日を、歴史都市高岡を象徴する日として「高岡の歴史文化に親しむ日」と名付け、平成29年度から市内小・中・特別支援学校を休業日とするよう準備を進めている。その代替措置として、2学期の始業を1日早め8月31日とすることで現状の年間の授業日数を確保したい。
市長 (2)登録後、富山県や魚津市、南砺市と連携し、富山の曳山魅力推進大会が開催されたところである。飛越能地域の登録関係市とは、共通ポスターの作成や会館施設の連携を検討している。特に、県西部6市には、今回登録された曳山祭以外にも多くの祭り

があることから、「祭」をテーマに、例えば「世界遺産街道」などの旅行商品の提案を強力に働き掛けたい。

五輪の経済効果等を高岡に

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、本市にその経済効果などを呼び込むため、事前合宿の誘致やホストタウン構想に取り組みむべきと考えるが、見解は。

教育長 これまでも合宿誘致に関する情報収集を行い、県をはじめ各種競技団体等への要望や協力依頼を行ってきた。合宿誘致強化種目としては、バドミントンとレスリングの2競技について、各競技団体等に働き掛けている。また、これまで様々な交流のあるポーランド共和国を相手国としてホストタウンの登録を目指しており、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会やポーランド共和国に働き掛けている。



数中 一夫
自民同志会

クルーズ船客の新幹線利用

新高岡駅利用促進のため、

伏木港に寄港するクルーズ船客向けの新幹線利用のツアーを提案しては。

産業振興部長 本市では、クルーズ船社等に対しポートセーリング活動を継続しており、新高岡駅を利用したオプショナルツアーや新幹線とクルーズを組み合わせた旅行商品造成を提案・要請してきた。一方、個人で自由に観光する乗船客等もいるため、新高岡駅の利便性のPRに加え、新幹線を利用した周遊観光が可能となるよう、現在、万葉ふ頭と高岡駅間で運行しているシャトルバスを新高岡駅まで延伸することも検討したい。

傷病者への迅速な対応

図 救急車にカメラを設置し、位置情報や傷病状況を受け入れ先医療機関の端末へ伝送することにより、迅速な対応が可能となるシステムを導入してはと考えるが、見解は。

消防長 システムの導入は、迅速な処置の開始が可能となるなどの効果が認められる一方、伝送される情報を医師が常時確認し、指示する体制を確立する必要があることから、医療機関への負担が懸念される。本市の救急出動の平均病院収容時間は全国トップレベルであり、傷病者をいち早く

医師の管理下に置ける状況となっている。今後、さらなる救命率向上のため、システム導入について調査研究したい。

五輪聖火台に高岡銅器を

図 高岡銅器による東京オリンピック・パラリンピックの聖火台の実現に向けた活動は、本市のものづくりの技術を世界に発信する好機と考えるが、活動状況と今後の取り組みは。

産業振興部長 これまで、聖火台の作製をはじめとした新国立競技場や関係付帯施設に高岡銅器が採用されるよう、官民一体となって計5回の要望活動を行ってきたが、今後も組織委員会等の動きを注視し、情報収集に努め、時宜を得た要望活動を継続したい。東京オリンピック・パラリンピックを契機として、銅器や漆器などの地場産品をはじめとした高岡の強みでもあり、ものづくりの技術力を国内外に向け積極的に発信したい。



中川 加津代
自民同志会

公共施設の今後の整備方針

図 公共施設の整備方針について問う。



安全性向上を図る高岡市民会館

ス飛散防止フィルム貼り、外壁・内壁・ホワイエ等天井の改修などの安全対策や、電気・舞台設備や施設の修繕などの老朽化対策がある。これらの費用は、最低限必要な老朽化対策を含め、概算で2億円を超えることが想定される。(2)建物の老朽化に伴う問題点があるが、国指定史跡となっている高岡城跡内での大規模改修は難しいものがあると考ええる。当面は屋根の葺き替えや外壁の補修などの修繕を行い、施設の維持に努めたい。今後のあり方については、平成22年2月に「高岡市立博物館整備構想報告書」でまとめられており、今後、議論を深めていきたい。

まちの将来像の共有

図 高岡の将来像を、将来の担い手となる児童生徒とも共有するため、小・中学生版の「未来高岡」ビジョンを策定してはと考えるが、見解は。

市長 平成29年度から始まる新たな総合計画では、まちの将来像として、「市民創造都市・高岡」を掲げている。この理念を基に、小・中学校の教育現場でも活用可能なわかりやすい冊子、例えば「高岡のつくりかた」などとして、今回初めて作成する予定であ

る。作成に当たっては、短く平易な文章で写真やイラストを多用するほか、手に取りやすいサイズやページ数などにも工夫を施したい。今後、この冊子等を活用し、人口減少社会においても、小・中学生たちをはじめ次代を担う若者が夢を描き、挑戦できる魅力あるまち高岡を市民の皆さまと共に創っていきたい。



上田 武
社民党議員団

高齢者の交通事故対策

図 高齢者の運転免許証の自主返納について問う。

(1)自主返納を促すため、公共交通手段のさらなる利便性の向上を図るべきでは。

(2)自主返納者に対する支援制度を拡充しては。

都市創造部長 (1)地域における公共交通の利用ボリュームや主たる利用目的を勘案したうえで、高齢者支援や買い物支援など、民間や公共の各種サービス内容を考慮しながら、地域の実情に応じた地域交通の可能性を検討したい。自治会等とタクシー事業者との契約に基づく地域タクシー運行支援事業などの制度を活

用し、地域が主体となつて地域の実情に応じた新たな交通体系の構築を進めることが、運転免許証の自主返納の促進につながるものと考えている。

市民生活部長 (2)平成28年4

月から、高齢者運転免許自主返納支援事業の対象年齢及び支援額を一部変更し、認知症発症率が著しく増加するとされる75歳に達する前の自主返納を促すとともに、若年でも運転が困難な方や、その家族に対する自主返納を促す動機付けとなるよう、対象年齢を、70歳以上から65歳以上に拡大した。今後より効果的な取り組みにつながるよう工夫を重ね、自主返納しやすい環境づくりに努めたい。

少子化の進展と課題

副 少子化の今後10年単位の予測から、どのような課題が新たに生じると想定しているか。また、その対策に向けた取り組みは。

市長 少子化の進展は、地域の経済・産業活動を支える担い手不足や、医療・介護等の社会保障システムを支える現役世代の減少につながる恐れがあるほか、子どもを産む世代の減少により、出生数がさらに減るといふ負のスパイラルを引き起こす懸念がある。

若者の働く場づくりや良好な住まいの確保、居住に対する支援のほか、産後の母親を支える体制づくり、特別保育や放課後児童クラブの充実などの取り組みを通し、若者や女性、子育て世代が安心して生活を送りながら、子どもを産み、育てたいと感じるまちを実現したい。



吉田 健太郎
公明 党

不登校児童生徒の支援を

副 全国では、学校に行けない・行かない子どもが12万人を超えているといわれているが、本市の不登校の予防と解消に向けた決意は。

市長 本市の不登校の状況は、中学校では概ね横ばいだが、小学校では漸増の傾向にある。不登校の低年齢化を懸念しており、担任や養護教諭はもとより、医療機関等に配置されているスクールカウンセラーなどを交え、必要に応じてケース会議を開催し、早期の対応に努めている。今後も、学校や家庭、関係機関などが一層協力し、不登校を生まない環境づくりや、不登校児童生徒一人ひとりの実情に応じた

支援体制づくりに努めたい。

教育現場へのエアコン導入

副 近年の夏場の気温が上昇傾向にあることなどを踏まえ、普通教室へのエアコン導入に向けた検討は。

教育長 平成28年度に夏場の学校における室温調査を初めて実施したが、いくつかの小・中学校で、平均室温が文部科学省の基準を超える結果となった。実態の正確な把握には調査を継続する必要があるが、室温が30度近い環境は、望ましいものではない。老朽化した学校施設の改修など多くの課題もあるが、一般家庭へのエアコンの普及に伴う子どもたちの環境への適応状況など、様々な観点で検討する必要があると考えている。

歴史資産の効果的な活用を

副 西山歴史街道を象徴するスポットとして守山城や埋蔵文化財センターを活用する方針は。

教育長 守山城は、二上山の魅力の一つであり、また、本市の中世史を明らかにするうえで重要な山城である。今後、詳細調査を進めて守山城の歴史的価値を高め、市民への教育普及に努めていきたい。埋蔵文化財センターでは、市

内の代表的な考古資料を展示するとともに、体験学習などの広報普及活動の役割を担うことになる。展示の内容には、西山歴史街道に点在する文化財や、前田家関連史跡の調査成果を反映できることから、展示を通じて、その魅力を広く市民に伝えていきたい。



福井 直樹
自民 同志会

移住促進への取り組み

副 県が東京で開催する「とやま移住・転職フェア」では、他市と差別化を図る必要があると考えるが、本市独自の取り組みに対する考えは。

経営企画部長 フェアには、高岡商工会議所やハローワーク高岡、本市により設立する「たかおか企業人材確保推進協議会」で参加することとしている。本市独自の取り組みとして、ハローワーク高岡が参加することで、その場で求職登録を行い、詳細な求人情報を提供できるほか、住まいや子育て情報などの暮らしやすさの魅力を併せて紹介することで、本市へ移住したいというイメージを持ってもらえるものと考えている。

次期中活基本計画の方向性

副 高岡市中心市街地活性化基本計画の第3期計画作成に向けた考え方と方針は。

産業振興部長 第2期計画の成果と課題を踏まえ、交流人口の拡大やにぎわいの向上など、さらなる活性化に取り組む必要があると認識しており、高岡駅前東地区の整備等の民間投資の動きも活かし、新たな基本計画の作成を進めている。基本方針として、交流人口の拡大による「行き交う人で賑わうまち」、まちなか居住と生活サービス・事業創出機能の充実による「住む人、働く人で賑わうまち」の2つを掲げ、計画をまとめたい。



開発が進む高岡駅前東地区

農用地の有効活用を

副 農用地利用計画などを定めた高岡農業振興地域整備計画の今後の見直しの方針は。

産業振興部長 農業振興地域内の基礎調査や県・関係団体との調整後、平成30年春頃に計画変更の公告を行いたい。市としては、引き続き優良な農用地の確保に努め、有効活用を図ることが大切と考えている。そのため、今後とも農用地の集積・集約化による経営規模の拡大や新たな担い手の育成など、経営体質の強化に向けて取り組みたい。計画の見直しに当たっては、農業委員会やJAなどの関係機関・団体と農業のあり方について意見交換の場を持ち、地域の現況や将来の見通しを把握したうえで、地域ごとの特性を考慮し作業を進めたい。



横田 誠二
自民同志会

子育てしやすい環境づくり

副 放課後児童クラブ支援員の確保など、子育てしやすい環境づくりに向けた市の取り組み方針は。

市長 放課後児童クラブの安



放課後児童クラブの充実で健やかに成長できる環境整備を

定した運営や受け入れ態勢の充実のため、支援員を含めた指導員の確保は重要な課題と認識している。これまで、地域で興味のある方や退職保育士等への勧誘などに取り組みできた。さらに幅広く支援員等を確保する方策を推進したい。「未来への投資」として、地域の資源を集中的に投入すべきと考えており、ライフステージに応じ、子どもの24時間の生活に着目した子育て施策・事業を着実に展開することで、子どもが健やかに成長できる環境を整えていきたい。

水道事業の広域連携は

副 国は都道府県に対し、各自治体に市町村等の水道事業の広域連携に関する検討を要請しているが、所見は。

上下水道事業管理者

本市を含む県西部4市は県から共同で受水しており、既に広域的連携を図り事業運営に取り組んでいると言える。一方、経営基盤強化の有効な方策の一つに経営の一体化等の広域連携が考えられることから、現在策定中の「高岡市上下水道ビジョン」においても研究、検討することとしている。総務省では、都道府県に対し広域的な連携強化について全市町村が参加する検討体制の設置を要請しており、今後、その中で議論を進めていきたい。

コンビニ交付サービスPR

副 マイナンバーカードを利用した住民票等のコンビニ交付サービスの実施をより強力にPRしては。

市民生活部長 ポスターやチラシ、広報紙、ホームページ等を活用した周知に加え、印鑑登録者への窓口での紹介や説明、自動交付機の複数回利用者へのコンビニ交付サービス及びマイナンバーカード取得の案内送付など、さらなる周知に努めている。今後とも、市内の約80店舗はもとより、全国のチェーン店で利用できる便利な交付サービスを積極的にPRするとともに、自動交付機の終了時にも、混乱が

無いよう周知していきたい。



石須 大雄
社民党議員団

医療型児童発達支援の意義

副 本来、県が行うべき児童発達支援センター事業を市が行う意義は。

福祉保健部長 きずな子ども発達支援センターは、医療施設を備えた心身障害児通園センターとして、平成11年から、地域によって分け隔てることなく心身の発達に特別な配慮や支援が必要な子どもたちの支援を行ってきた。社会の将来を担う地域の子どもたちを健全に育てることは、自治体の大切な使命であり、呉西圏域にある唯一の発達障がい児の医療機関としての立場から、本市がその役割を担うことは意義があるものと考えている。

新高岡駅の利用促進策

副 北陸新幹線利用促進について問う。

(1)「新高岡駅利用促進タスクフォース」を急に設置した理由は。
(2)「臨時かがやき」に余裕を持って乗り継ぐことができるよう、高岡駅・新高岡駅間を

運行する路線バス「シャトル6」の運行開始時刻を、午前7時台から午前6時台後半に変更するよう求めている。

市長 (1)平成29年3月で新幹線開業から2年を迎える。これまで「かがやき」の停車に向けた対応に全庁を挙げて取り組んできたが、一貫して厳しい状態にあり、正念場に差し掛かっていると認識している。来春のダイヤ改正や、春の臨時ダイヤの発表が見込まれる節目の時期にこそ、市長直属となる組織を設置して、これまでの取り組みを再検証し、より効果的な取り組みを迅速に実行できる体制の整備が必要と考えたものである。

都市創造部長 (2)午前7時22分発の「臨時かがやき」にアクセスする「シャトル6」は、平日は午前7時1分発と7時6分発の2便が運行されているが、休日は午前7時6分発の1便のみである。平成28年春の北陸新幹線のダイヤ改正で、「臨時かがやき」の発車時刻が変更されたことにより、新高岡駅での乗継時間がタイトなものとなっていることから、「シャトル6」を運行するバス運行事業者に対し、この時間帯での利便性が向上するダイヤ編成を要望しているところである。

総括質問

今定例会では、3人が市政一般にわたり、一問一答方式で質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



永森 茂
自民同志会

まちの活力創出に向けて

問 金屋町の鑄物師町工場の形成について、現在の状況は。

産業振興部長 ものづくりに携わる若手技術者や作家が、伝統工芸士や地域内外の様々な人との交流を通じて技能向上に取り組める環境を整備し、高度な鑄物技術の継承を行い、人材の受け入れ、育成、定着を進める拠点施設として整備することとしている。現在、整備用地の取得に向けた準備を進めており、近く、地元や関係者との協議に入り、できるだけ早期に整備を進めたい。

問 歴史・文化のまちづくりを進めることで、市の将来像をどのように描いているのか。

市長 新たな総合計画では、まちの将来像に「豊かな自然と歴史につつまれ 人と人がつながる 市民創造都市・高岡」を掲げている。先人たちが創り上げた工芸技術や祭礼

を現代のまちづくりに活かし、市民一人ひとりがその歴史・文化資産を受け継ぎ、次世代に創造的に引き継いでいくことで、活力に満ちた市民創造都市の実現を目指し、歴史・文化のまちづくりを積極的に推進していきたい。

産業振興ビジョンの推進

問 新たな産業創造に向けて、産業振興ビジョンが改訂されたが、これまでの成果や課題を踏まえた今後の進め方は。

市長 これまで、積極的な企業訪問を通じ、企業ニーズに即した支援制度の見直しを図った。特に、産学官金の連携が重要との認識から、金融機関や産業支援機関等とのつながりの見える化を図ることとしている。創業支援や、国内外への高岡産業の魅力発信と販路開拓、産業集積を活かした企業誘致などに取り組むことで、新たな事業主体の輩出と本市産業の「稼ぐ力」の強化を図っていききたい。

連携中枢都市圏の意義

問 「とやま呉西圏域連携中枢



呉西圏域6市が連携し行政サービスの水準向上を

都市圏」の取り組みについて、高岡市民にとつての意義をどのように考えているのか。

市長 圏域を挙げて人口減少社会への対応を進めることは、本市にとつても、行政のみならず民間のサービス水準を向上させ、市民が快適で安心して暮らせる都市環境を確保するために重要である。とやま呉西圏域を全体として捉え、この圏域への人の流れを作っていくため、6市が協力し、



野上 達夫
社民党議員団

住みやすいまちの形成

問 まちなか居住推進総合対策事業には、まちなか区域の空き家取得等の補助支援制度があるが、全市に拡充しては。

都市創造部長 まちなか居住推進総合対策事業は、高岡市中心市街地活性化基本計画に掲げた様々な施策と連携し、中古住宅の購入支援などを行い、まちなか区域の居住人口の維持、増加を目的として実施している。一方、空き家はまちなか区域に限らず全市的な課題であり、空家等対策計画を作成していく中で、支援制度のあり方を検討したい。

問 高岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略のこれまでの取り組みを通しての評価と課題は。

市長 総合戦略では、魅力的なしごとづくりを第一に、創業環境の整備などに取り組んでおり、創業件数等が増加している。こうした中、地域の雇用情勢の改善により、人口

官民を挙げて地域経済の活性化や雇用の確保、生活環境の向上等に取り組んでいきたい。

地域で支え合う取り組みは

問 高岡あつかり福祉ネット推進事業について、平成28年度では全小学校区単位で行われているが、評価は。

市長 地域住民同士が支え合い、各地域の実情に応じた生活・福祉ニーズの把握とその解決方法の検討、声掛け・見守りなどの支援活動に熱心に取り組んでいただいている。28年度、市内全27地区の指定が完了し、地域で共に支え合う互助・共助の意識の醸成が図られているものと評価している。

再生可能エネルギーの普及

問 脱原発には再生可能エネルギーの普及が欠かせないと考えるが、見解は。

市長 国では、再生可能エネルギーを有望かつ多様で、低炭素の国産エネルギーとして積極的に普及を推進するとされており、本市としても再生可

9月定例会後～12月定例会前

- 9月27日 代表者会議
広報広聴委員会
議会改革検討委員会
- 29日～30日 港湾対策特別委員会行政視察
- 10月 6日 広報広聴委員会
- 11日 議会改革検討委員会
- 12日 代表者会議
- 24日 経済消防常任委員会
議会改革検討委員会
- 26日 建設水道常任委員会
- 27日 総務文教常任委員会
民生病院常任委員会
- 11月 8日 水道病院決算特別委員会
代表者会議
決算特別委員会
- 10日 決算特別委員会
水道病院決算特別委員会
- 11日 決算特別委員会
水道病院決算特別委員会及び現地視察
- 14日 決算特別委員会現地視察
- 16日 水道病院決算特別委員会
決算特別委員会
議会改革検討委員会
- 18日 建設水道常任委員会
民生病院常任委員会
- 21日 総務文教常任委員会
経済消防常任委員会
議会運営委員会
代表者会議
- 22日 正副常任委員長会議
- 28日 議会改革検討委員会

12月定例会

- 12月 1日 代表者会議
議会運営委員会
議員協議会
本会議(提案理由説明)
議案説明会
議会運営委員会
民生病院常任委員会
経済消防常任委員会
建設水道常任委員会
総務文教常任委員会
港湾対策特別委員会
新幹線・公共交通対策特別委員会
歴史文化・広域観光対策特別委員会
広報広聴委員会
議会改革検討委員会
- 5日 本会議(個別質問)
- 6日 本会議(個別質問)
- 7日 議会運営委員会
- 8日 本会議(総括質問)
議会運営委員会
- 9日 民生病院常任委員会
経済消防常任委員会
- 12日 議会運営委員会
建設水道常任委員会
総務文教常任委員会
- 14日 委員長会議
議会運営委員会
議員協議会
本会議(議案など議決)



金平 直巳
日本共産党

政務活動費の不正根絶

若干名の現職市議による常識から逸脱した政務活動費の使途に対し、市民から厳しい批判が相次いでいるが、見

能エネルギーの利用拡大に努めたい。一方、国は環境負荷の低減や再生可能エネルギーの導入拡大と併せ、原発依存度を可能な限り低減させるとしている。将来に向けてのエネルギー施策の推進には、国民の理解を十分に得て対応してもらいたいと考えている。

津波を想定した防災対策

富山湾岸での津波の特性を踏まえた対策の具体化を。

副市長 富山湾岸の津波の特性は沿岸への到達時間が短く、発生時には迅速な避難行動をとることが大切である。このため、これまでに津波避難ビルの指定を行うとともに、避難対象地域を含む校区ごとのハザードマップの配布や海抜表示板の設置により注意喚起を行っているほか、自主防災組織では、日頃から避難訓練

解は。市長 政務活動費は、「高岡市政務活動費の交付等に関する条例」に基づき、適切に執行されなければならない。

教育現場に高速通信環境を

小・中学校の授業に支障が出ないようにするため、インターネット接続環境の改善に向けた進捗状況と、今後の対策は。

教育長 平成28年度は、夏休みに小学校及び特別支援学校のファイルサーバーを更新したほか、冬休みには小・中・



小・中学校のインターネット接続環境改善を

マイナンバー制度見直しを

トラブルが頻発しているマイナンバー制度の見直し・凍結を国に要請しては。

特別支援学校の児童生徒用コンピュータを更新する予定であり、これまでよりも処理能力の高い機器を導入することとしている。また、インターネットの通信速度を確保するため、動画やデータ容量の大

きな通信にも対応可能な回線設備の導入に向け、回線事業者と協議を進めている。

市長 マイナンバー制度は、行政の効率性・透明性を高め、市民にとっても利便性が高く、公平・公正な社会を実現するための重要な基盤となるものであり、着実に推進する必要があると考える。運用面・システム面においても万全を尽くしたい。国に対しては、マイナンバー制度への理解を得るため、さらなる制度の周知徹底を行うよう要望したい。

委員会の動き

3つの特別委員会は、本市の当面の大型プロジェクトや重要課題に対し専門的に調査活動を行っています。今定例会では、これまでの調査概要の中間報告がありました。

○港湾対策特別委員会

伏木富山港は、日本海の港湾をリードする総合的拠点港に位置付けられている。平成28年度は、グラウンドアンカー工法による、伏木外港の既設岸壁の耐震強化が完了し、緊急物資輸送の確保が図られた。また、伏木富山港の一部地区が、新たに市街化区域に編入された。今後は、この区域の有効な活用を検討していく必要がある。さらに、国内

外のクルーズ客船のさらなる誘致や受入れ体制の充実強化とともに、貨物の集荷促進や新規利用荷主の開拓も推進していかなければならない。そのためにも伏木富山港を総合的に完成させるよう、引き続き、C工区の早期整備を国・県へ要望していく必要がある。

○新幹線公共交通対策特別委員会

新高岡駅に停車する「かがやき」は、新幹線開業以来、臨時便として継続運行されているが、定期便の停車は厳しい状況にあり、引き続き新幹線利用促進の取り組みが必要である。新高岡駅周辺駐車場は、料金体系・割引サービスの見直しや、県外利用者を対象とした予約制度が試験的に導入された。万葉線は、一般

乗客及び通学定期利用者の減少により、平成27年度の利用者数は、26年度比95パーセントであった。あいの風とやま鉄道は、27年度の1日あたり利用者数が同社推計値を上回った。JR城端・水見線は、



高岡御車山会館に吉報届く 祝・ユネスコ無形文化遺産登録

観光列車「べるもんた」が乗車1万人を達成し、記念セレモニーが実施された。

○歴史文化・広域観光対策特別委員会

平成28年4月には、日本遺産を構成する文化財が追加認定され、12月には、「高岡御車山祭の御車山行事」がユネスコ無形文化遺産に登録された。これを契機として、歴史都市の価値をさらに高め、魅力を発信する必要がある。広域観光では、新幹線開業効果は一過性である場合も多く、継続的な集客の取り組みが必要であり、官民一体となった戦略的な事業展開が不可欠である。また、県西部6市では合同の観光キャンペーンや旅行商品の造成・販売に取り組んでおり、さらなる飛躍が期待されるものと思えます。

。今後は飛越能への観光ルートを定着させ、広域観光の拠点として発展するよう、議論を深める必要がある。

編集後記

「高岡御車山祭の御車山行事」を含む全国の「山・鉾・屋台行事」33件が、ユネスコ無形文化遺産に登録されました。御車山祭の伝統文化の価値や魅力が、世界の文化遺産として高く評価され、これまで伝統を引き継いでこられた関係団体をはじめ、市民の皆さまの熱意と努力が実を結んだものです。今後、関係自治体と連携し、さらに文化財の活用と地域の活性化につながるものと思えます。

12月定例会では高岡市議会諸役員の交代があり、広報広聴委員会も新たなメンバーでスタートいたしました。今、議会への注目が高まっており、広報広聴委員会の役割が重要になります。市民の皆さまの立場に立ったわかりやすい編集に努めていきます。

(野上記)

★編集委員

◎狩野、○福井、中川、坂林、野上、吉田、本田

(◎委員長 ○副委員長)

3月定例会の予定

3月定例会は、下記のとおり開催される予定です。

なお、日時等は、2月21日(火)開催予定の議会運営委員会で決定されます。

1日(火)	11時	議員協議会
	13時	本会議 (提案理由説明)
3日(木)	13時	本会議 (追加提案理由説明)
6日(日)	10時	本会議 (代表質問)
8日(火)	10時	本会議 (個別質問)
9日(水)	10時	本会議 (個別質問)
10日(木)	10時	議会運営委員会
13日(日)	10時	本会議 (総括質問)
14日(月)	9時	代表者会議
	10時	民生病院常任委員会
	10時	経済消防常任委員会
16日(水)	9時	議会運営委員会
	10時	建設水道常任委員会
	10時	総務文教常任委員会
21日(火)	9時30分	委員長会議
	10時	議会運営委員会
	11時	議員協議会
	13時	本会議 (議案など議決)

❖ 詳しい内容については、高岡市議会事務局(☎20-1531)までお問い合わせください。

市議会の傍聴

本会議及び委員会は、どなたでも自由に傍聴できます。

本会議は82名(うち車椅子利用者は5名)まで、委員会は7名まで傍聴できます。

最近の定例会の傍聴者数

定例会	本会議	委員会
28年 3月	31人	0人
28年 6月	54人	1人
28年 9月	22人	2人
28年 12月	88人	4人